・

　４

|  |  |
| --- | --- |
|  | ６１２４（）２～４１０ |
|  | （５） |
|  | ：１４（うち６）　３  ：６ |

【】

１

２　の

３　・（）にる

（）びのについて

（１）（）

（２）・わかりやすい

４　（）からのなについて

５　のについて

６

・　　　　４

１　・　　　　　４

２ （１）・（）に　　　　　　　　　　　る（）のについて（）　【・】

３　（２）・（）にるにおけるなについて

４　（３）・にする（からの）

５　（４－１）のをしたなど（なもの）

６　（４－２）のをした（）

【え：】

７　（５）・（）

８　（１）３での

９　【】の・わかりやすい（でしたもの）

◆　・（）に　　　　　　　　　　　る（）びのについて

（１）（）　より、１について

（２）・わかりやすい　より、２について

（）

の、についてのご・ごはあるか。

（）

「わかりやすい」に、した。がくしており、のをいていただいたことはによかった。よりもがいののがえたことをうれしくう。しげる。

（）

２の２「３ その」の３つ、「・１８をぎたがいが～」とのごについては、にどのようなをすのか。またに、これにずるようながあるのか。そのにするにしての、のえをいたい。

（）

には、をえたからにるまでの（１５～１７）の、としてのをさせてほしいというが、くのからている。そのようなにするのは３というなもので、４のをえるとすることはしいとえている。では、やのとし、のでできないかをしている。

（）

なやをいたい。

（）

をしていたからのへのには、のがてくるため、たなやをするのではなく、しているでの「」というをしていただくのがであるかとう。

（）

した。

（）

１でにくのごをいただいているが、しっかりみみたい。でなく、をする。

（）

（１を）むをりたいが、よろしいか。

[ 　 ]

それではこれより５ほど、１をむとする。

（）

をする。めて、についてのご・ごはあるか。

（）

３の８、がいのいのあるおさんのからのごのようだが、これはセンターがされたことで、がにされている、ということでよいのではないか。

（）

８は「み」でよいのではというごだが、にをう。

（）

ので６６に、のえとともに「“こだいら”について」ののがある。では、がいへのはっているが、ごされたはなるをまれており、としてはごをにさせていただくといったで、「もめていく」というとしている。

（）

にしたでがあったため、「み」でよいのではないかとのごだったが、いかがか。

（）

にはにみのものであるが、をまれたで、「に・を」というごであるとえ、はこのまま、とさせていただきたい。

（）

、よろしいか。

[ 　 ]

（）

１９に「のをくみます」とある。これはたちからも、な（の）をしてほしいのをかなりしてきた。の６８に「についてする」とがあるが、「に“けて”」とみんだにできるとよいとじている。

（）

については、としてえるまでにのもしているが、なところまでできるにない。ではこのがなところであり、ごいただきたい。

（）

たっただが、そのがあれば、のきなをじることができるとい、べた。ごいただきたい。

（）

「ついて」を「けて」にえることのはしいか。

（）

する。の３（６～８）で、からてもにけたがかのしがたず、としては「けて」とみんだにはできない。は「についてする」というでごをいただきたい。

（）

のにしたができるようになっていることがだとう。

（）

のごにしてべる。のについてくのをいただいているのに、すべて「」とされている。のでは「８までに」とされているため、そこにけてのいちをっていただきたい。は、ので「この３（の）はで、そののでえますよ」というけめをした。も、うまでにがかかった。からもめたなをめなければ、８のはおろか、の３でもしいとなってしまうのではとしている。

また、のとなる、のまるとしてもとえる。のられるにしてほしいと、くむ。

（）

ごにする。これまでにからいただいたごはしており、がらずおびする。この３、についてもしないわけではなく、しっかりとをけていきたい。でな・がえてこないでは、そこに「けて」というがしいというをごいただきたい。

（）

にごあるか。なければ、（）からのなについて、からごう。

◆　（）からのなについて

より、４－１・４－２・について

（）

（）からのなについて、ご・ごはあるか。

（）

４－１の１「の」で、４のが１０８から１００となっているが、のが「５に１０７」であり、のがしっくりきていた。の、４が１００だとをにえており、５に１０７では、にってしまったとをえるのではないか。きにがとえる。

（）

のは「５に１０７」であり、４に「１００」でにされているが、には５でもされており、ないとえる。

（）

えなければ、のののごもいたい。

（）

よりもにできているということを、３６にすることができればよいのではとえる。のがよくできたというとなった。そのことがわかるようなになればよいのではないか。

（）

【・】の１つの○のもめて、ごいただければありがたい。

（）

【・】の１つの○は、の「した」のことをし、４の５は、が５に９であるので「にはかないみ」とされている。

の「」をると、４のはの１０７をえて１００までされているが、これはずしもでないのもまれての１００である。

（）

する。に１１３のがされていた。この１１３をとして、の「のへの」は、へのを、５には９をめざそうというものである。の「の（）」は、、、へののと、をしたのとをしきしたであり、４はくなった・へしたがく、１００となっている。

（）

のでができたが、このののままではわかりにくい。しでもできないか、ごえればとう。

（）

についてのを・できるかをめ、させていただく。

（）

が４でにったがみれるよう、ごいただきたい。にごはあるか。

（）

４－２の５０のの○で、のについて、がされている。「にができるをするなど」のがられているのはされてのことか。

（）

のからはれていたが、でをったものである。でにがなはいるが、としてされたものではないため、のにさせていただいた。

（）

では、じく４－２の９０「（）⑥」にある、「がいでは、のをします。」のを、５０ののにれむことはできないかいたい。

（）

５０では「と」としてをしている。９０は「のための」であるため、こちらへしている。５０ではがそぐわないため、しないことをごいただきたい。

（）

した。じく４－２の６０のの、のので「（）のうち、」というがられているのはなぜかしたい。

（）

のをみんだで、がし、「（）のうち、」をした。

（）

のをみんでいないためはわからないが、【のの】のをんでも「（）のうち、」はあったほうがよい。としてべる。

（）

にごはあるか。なければ、１０のとする。

【 　　 】

（）

をする。についてのくのごにする。

いて、５「のについて」よりごう。

◆　のについて

（）

５「」は、、についてのをい、やのについてもでし、３にのである。は、のをごいただきたい。によるは、、わかりやすいとなる。にがいのにけ、でくことができるようにびを・においてする。・わかりやすいについては、１２のでとしてしたものをに・する。

については、のに、３または４にびのをするであり、４の「こだいら」にて、をしたのをする。のには、したのをさせていただくである。

、のとに、、びにて、のをする。

（）

ごにする。のについて、ごはあるか。

（なし）

のには、５２９の１からの４まで、にくのご・ごをいただいた。にもくのごをさせることができたとう。よりされたびのについて、ごいただけるはをおいする。

[ ]

ごにする。ごいただいた（）から「（）」をってえ、させていただきたい。についてはとなる。

はのとなるため、をめてのごやのについて、にずついただきたい。

（）

５からとしてした。のについてはしく、、４がわってもまだできていないがある。がいには、りごとやみをえたときにをいてくれる、いでありけていただきたいとっている。がいとがいのにいているがいるが、がきなだとしている。そのはなだとうが、がをきってとなってくれれば、もできるとう。

ののため、することがかあり、しさやりにつながった。は、きちんとわれるでっていただけたらとう。わからないこともかったが、よいとなったことにしたい。

（）

３にされるがいには「○」のがなく、わかりにくいため、からつけていただきたいとをべている。ごいただきたい。

（）

でめてした。めはしたが、・のけやしやすいづくりににけられた。は「→→」とされ、「もうみんでほしい」とうはあるが、のでにしていることやなのからているが、のでふれられていることにづけたのもにしてからである。のが、のにどれだけできているか、をしっかりおいするとともに、もでできることをっていきたい。

は４されたが、１はかれている・すべきをするのでで、をべるにらなかった。のものごでばしていただいたもあった。しっかりと・のがれるよう、が４でかもめて、ののをごいただきたい。

のについても、やについて、このままでよいのかとうもいくつかあるが、にごとのにつきがあったことがになっている。されたにもなごがせられていることもわかり、をもっとできるようにしていただきたいとっている。にしたい。

それから、３についてふれなかったが、それでよかったのかだけいたい。

（）

のでは３にふれていないが、からのについてもまえたで、のでできるところはさせ、「」にえたところである。

（）

にはのがされているもあり、のとについてはにされ、ながえてきているとじた。こので「ではここにをれよう」「こんなもある」といった、やもできるがあるとよいとじた。はのへ２、としてしたことがあり、は２でもく、にそれぞれのやえをりうをち、それからにするをはじめていた。のからにるものもあり、ものをまえてそののをめていた。のこのではをやしていただけるよう、ごいただきたい。ばせていただき、する。

（）

、としてするとして、にがされることは、がいのがにまり、ありがたいとう。としてめてし、にについてはわからないことがかった。こののやでがめられ、のもがったとう。にできたことにする。

とのはないが、のではのがしている。でものはだが、ののがいやがいへのや・がになるところである。はにであり、ぜひがいとをり、がいにするをげ、それぞれのにどんながなのかをえていただくことをする。

（）

はやのがあり、がだったとう。をねぎらいたい。にまとまり、によかった。・としてしたが、がいのあるがらしくしたをしていくことや、にづくのをび、これらがであるとめてじた。でのには、いの、なのがであることもし、これからもできることがあればしていきたい。

するにもがいのあるがらしており、そのたちがらしくきていくことのができたらとう。ともよろしくおいしたい。

（）

にさせていただいたことにする。でめてとなったが、をめるのや、のがあり、みんだにわるがなく、ごをおかけしたとう。まれてからずっとであり、これからもみけるとして、にのがされやすいであってほしいとえる。

もにしたがあるが、えがしいのではとじた。では、は「」となっているため（でやはできなかったが）、いの・やがえやすいをえるがあるとえる。

では、にしてのえはあるがどうしてよいかがわからず、なえをべるにらなかった。ももなであることはしているが、ごろからまるがいからの・（がいがへったときにがいたこと）などもし、にしていただきたいとう。に、たちからもにわり、やをしていかなければ、というちもきくなった。する。

（）

しているでは、がいのあるの・・、のをしているが、でおりのもいとき、がいとしてができるのか、している。にして、なえ、なをおちののをめてじた。・は、このなをどうりんでいくかをえ、されたをしながらしていければよいとう。

がいのあるのには、「にっているか」「どうしてほしいのか」がわからずにっているがく、そこをするがみり、するがないと、うまくをみてられないもあるとえる。がい・ともに「するはくあるがえるがいない」「がない」「がない」というがからまっているようだ。も、これからのをえたもなのではないか。

また、しているはとしてしているが、をしたらよいかできておらず、のでは「にどういたらよいか」「これからしっかりしていかなければ」とにじた。

（）

は１が・の、４はのでわってしまい、できるのは２・３にられてしまう。はをするだけのではなく、をし、をして、をよりよくしていくであり、２のではない。が「ので」とっていたが、このでこれだけのをこなすのはしい。やにのがいておられることや、でがされることもしているが、のをえるとき、もうしをめるをいただければとう。

やからも、についてのがくされている。をめたがすることがましいが、についてもできることからはじめていかないと、またすぐに３がってしまうがある。しずつでもめられたらよいとう。

（）

こえないのための、のをしている。がい、がい（）のがいる。ではにがなかったとじており、もすることができなかったため、ここでべたい。

がいのあるがでするためにはらしののがであり、それぞれにうらしをできるよう、なをやしていってほしいとう。ののがあったが、をむがいのあるのともしていることをしていただきたかった。わからないことばかりだったが、よいをえていただき、したい。

（）

わかりやすいをってほしかったが、しいこともかった。がするをくできるよう、これからもえてほしいとう。

（）

でとなり、わからないこともかったが、なでばせていただいた。くできなかったこともあり、としてのえにづけられず、できなかったが、このによってやごに、しでも「らしやすくなった」とっていただければばしい。

のをむと、のににつまされるいである。「します」とされたことが、は「めます」「やります」というえとなり、がいのあるのがされ、らしやすいになるとよいとう。

（）

にし、がい・がいがしたがいる。にはかなりにしたがあるが、そのとべるとだいぶされたがある。のや、がにへったをとしてまとめたり、のをいただくなど、ごにしたい。

の「（がいのあるの）の」はぬまでくが、がいののにはがあり、３に「のではこうだった」とえてくれるがられるのかである。３、「にします」「します」とされたことへのをし、へつないでいただきたい。の３も、のやのなど、たいへんなことがとしてされている。

のからは、へのやをやすことをくおいするとともに、の、したもえていただきたい。で、してしていきたいとっている。

（）

５から４のだったが、めてをし、れなもにえられてすることができた。のごに、よりしげる。また、のをいて、やはりをすべていげれていなかったとし、おびしげる。

がとのちわせので、「のこのには、のがかなりされている。」とっており、していれば、このをされたとう。が「されていない」「わらない」とえるはしているが、でのがかなりされており、これはあまりをないのではないか。やにりあるでのをろうと、も、をはじめとするもし、ができがったとえている。このがどうされるか（されたか）について、はにってきちんと・ししていただき、もり、きちんとするがあるとう。ききごりたいとえている。いではあったが、これまでのごにする。

をもって、４のをすべてする。をへおしする。

（）

のにはおしい、なごをいただきしげる。びに、よりごしげる。

【 より 】

（）

で、・ のをし、とする。

◆